

# 地域に学び、 地域を学ぶ 鳥羽高校



～世界に羽ばたく鳥羽のアスリート～

三重県立鳥羽高等学校 ☎(25)2935

今回の広報とばでは、フェンシングでの活躍と鳥羽高校活性化協議会、鳥羽高校魅力アップセミナーについてお知らせします。

## 全国や世界の舞台で活躍!

鳥羽高校フェンシング部  
小久保選手さん  
インターハイで  
個人サーブル3位!

8月1日～5日、知多市民体育館で開催された平成30年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技で鳥羽高校3年生の小久保選手さんが男子個人サーブルで3位に入賞しました。

小久保さんは、8月28日に市長室へ結果報告に訪れて「全国の大会で上位に入る結果を残していきたい」と今後の抱負を述べ、中村市長は「地元選手の活躍がうれしい」と喜びました。



中村市長に結果報告した小久保さん

アジア大会フェンシング競技でメダル獲得!  
鳥羽高校出身  
山田 優選手 金メダル  
山田あゆみ選手 銅メダル



アジア大会・フェンシング日本代表 (左から3人目が山田優選手)



金メダルを獲得した山田優選手 (左から2人目)



銅メダルを獲得した山田あゆみ選手 (左から3人目)

8月にインドネシアで開催された第18回アジア競技大会において、鳥羽高校出身の山田優選手が日本代表の一員として出場し、フェンシング男子エペ団体で優勝し、日本初の金メダルを獲得する快挙を成し遂げました。また、同じ

く鳥羽高校出身で姉の山田あゆみ選手は女子エペ団体のメンバーとして出場し、銅メダルに輝きました。  
2年後の東京オリンピック出場に向けて、鳥羽出身のアスリートの活躍に希望が膨らむ結果となりました。

アジア大会で活躍した山田優選手の講演会を開催します!

鳥羽高校では山田優選手を招いて、講演会を開催します。市民のみなさんも参加できますので、ぜひ鳥羽出身のトップアスリートの声を聞き、温かい声援を送ってください。

とき 10月12日(金)  
午前9時30分～11時30分

(受付 午前9時～)

ところ 市民文化会館・大ホール

第1部 講演「東京五輪2020を目指して」

第2部 現役鳥羽高生との実演「フェンシング競技について」

競技内容・魅力・観戦ポイント

※事前申込不要、無料



山田あゆみ選手

## 鳥羽高校活性化の取り組み

鳥羽の活性化には、次世代を担う若者の活躍が必要です。そのためには、鳥羽高校の活性化が重要な役割を果たすと考えます。

そこで、鳥羽高校は学校の活性化や地域との連携強化を行うべく平成29年度から「活性化協議会」を立ち上げ、地域のみなさんや市関係部署と協議を行っています。

## 鳥羽高校魅力アップセミナーを開催します

地域のみなさんと鳥羽高校の魅力アップについて考えるセミナーを開催します。ぜひ参加してください。

とき 10月9日(木)

午後6時10分～8時30分  
ところ 鳥羽高校南館3階・多目的教室

対象 市民のかた

参加費 無料

第1部 地方創生観光ビジネスについて

講師 中川直洋さん（地方創生プロデューサー、鳥羽高校出身）

第2部 教育の魅力化による地域活性化～高校魅力化プロジェクト～

講師 藤岡慎二さん（教育政策アドバイザー・総務省地域力創造アドバイザー）

※事前申込不要

## みんなで鳥羽高校を盛り上げよう！

鳥羽高校活性化協議会委員のお二人にお話を伺いました。

大きく変化しつづける鳥羽高校



鳥羽高校同窓会 会長 大松 正嗣

ここ数年、地域社会と強く関わり合う姿がよく見受けられます。鳥羽の歴史や文化・自然の豊かさの中で、観光教育・地域学習を通して将来の地域社会を支える存在になるための仕組みが整いつつあります。

同窓会も国際観光文化都市の学生にふさわしい英語力を習得するために英会話講座を開設しています。また、ドローンの操縦技術を習得する講座を取り入れ、鳥羽の素晴らしい自然景観を認識し、広めていきたいと考えています。これからは、多様な生徒を受け入れる学校として存続していくことが望まれます。

鳥羽高校で鳥羽市をキラリ！



鳥羽市教育委員会 教育長 小竹 篤

県教育委員会は、2019年度末までに各高校の活性化に取り組み、地元の支援が得られない1学年2学級以下の高校は、統廃合を検討するとしています。

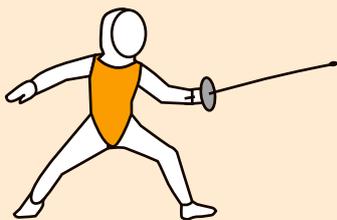
わたしたちの鳥羽高校は、まさにピンチなのです。ただ単に、地元で高校を残すということだけでなく、鳥羽高校が鳥羽市の地域振興の一翼を担うような仕掛けづくりをしなくてはなりません。キラリ輝く生徒や卒業生、そしてその学びにスポットを当てましょう。ピンチをチャンスに！官民連携による鳥羽高校の鳥羽ならではの特色を生かした取り組みが進行中です。

## 知っておきたい！

### フェンシング競技 ～ルールを紹介します～

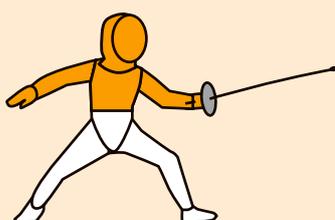
フェンシングはヨーロッパ発祥で、体にフィットする白色のジャケットやマスク、グローブなどの防具を身に付けて剣技を競います。一試合は3分間の5本先取で競われ、「フルーレ」「サーブル」「エペ」の種目により使用する剣や有効面、攻撃方法が異なります。

攻撃と守備に分かれて得点を競うフルーレとサーブルでは、先に腕を伸ばして剣先を相手に向けて攻撃しようとした選手に攻撃権が与えられます。防御する方は、相手の剣を払いよけるパレードを成功させることで攻撃権を得ることができます。



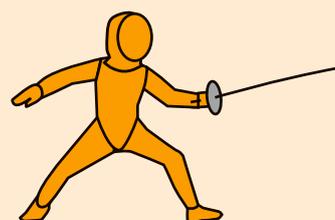
#### フルーレ

攻撃は「突き」のみで、両腕・頭部を除いた胴体部分の有効面を500g以上の力で突くと得点が入ります。



#### サーブル

攻撃は「突き」のほかに「斬る」もあり、両腕・頭部を含む上半身全部の有効面に剣が触れると得点が入ります。



#### エペ

攻撃は「突き」のみで、全身すべてが有効面です。攻撃権がなく、先に有効面を750g以上の力で突くと得点が入ります。